

課題1 次の文章を読んで、あとの(1)から(5)に答えましょう。

「母語」って、何でしょうか？ 社会言語学者の田中克彦^{かつひこ}さんは「母語」をこう規定しています、「生れてはじめて出会い、それなしには人となることができない、またひとたび身につけてしまえばそれから離れる^{はな}ることのできない、このような根源^{こんげん}のことばは、ふつう母から受けとるものであるから、『母のことば』、短く言って『母語』と呼ぶことにする」。ひらたく言えば、幼児期に母親などの身近な人々から自然に習い覚え、自分の中に深く入り込んで^こいる言語、それが「母語」です。

「母国語」というよく似た言葉がありますが、「母語」とは違^{ちが}いますのでA 区別してください。母国語は、その人が国籍^{こくせき}を持つている国で定められている共通語(公用語)のことです。「国語」「国家語」と呼んだほうが正確です。日本では、「母語」と「母国語」が一致^{いっし}している人が多いので、区別しにくいかもしれません。でも、テニスで有名な大坂^{おおさか}なおみ選手を思い浮かべてみると、両者の違いがよく分かります。彼女の国籍は日本ですから「母国語」は日本語です。でも、彼女の「母語」は英語です。

国際化が進むと、日本でも、母語と母国語とが一致していない人がどんどん増えてきます。ですから、「母語」と「母国語」の区別は、日本でも必要になりつつあります。

「母語」と「母国語」が一致していない人は、一致している人よりも精神的な苦痛を感じる^{くるしみ}ことが多いようです。たとえば、B 在日朝鮮人の金時鐘^{きんときね}さんは『朝鮮と日本に生きる』の中で、「母語」となってしまった日本語と「母国語」である朝鮮語とのほざまで引き裂^{ひきちぎ}られる自己を切々と綴^{つづ}っています。

それにしても、日本人の多くが日本語を「母語」とし、「母国語」とするというのは、極めて恵まれた状態であることを、まずは心にとめておいてください。一国一言語に近い状態にある国は、韓国、北朝鮮、モナコ、バチカンくらいしかないのですから。

繰り返しますが、「母語」は、生まれてから本人が意識^ししないうちに自然に身につけた言語で、あたかも肉体の一部であるかのようにあなたの中に入り込み、瞬時に口をついて出てくる言葉です。「自然に身につけた言語」と言いましたが、実際には、たくさんの時間を費やして習得しています。

私たちは、お母さんのお腹の中にいるうちから、母語のリズム、音の高低のパターンなど、母語の特徴^{とくちょう}をすでに学び始めています。そしてこの世に生まれた途端に「まあ、かわいい！」などと、母の喜びの声を聞き、家族の言葉のシャワーを浴びて育ちます。

発達心理学の今井むつみさんは、その言語ばかりを聞くうちに、母語の発音のカテゴリー(二範疇^{ふたはんしゅう})を学び、母語特有のカテゴリー知覚をつくり上げていくことを明らかにしています。つまり、新生児はどんな言語でも発音できる状態であつたわけですが、日本に育って日本語のシャワーを浴び続けると、日本語特有の発音だけを整理して受け入れ、日本語の発音を獲得^{かくとく}していくわけです。

抱っこされて町中に出れば、犬や猫や車に出会い、人の会話や歌や呼び声を耳にします。お母さんはそのたびに「わんわんよ」「にゃんにゃんよ」「ブーブーが来たねー」と子供に話しかけます。やがて保育園や幼稚園^{幼稚園}、そして小学校に通い、同じ年の子供たちや先生と会話し、母語の習得^{しゅうとく}に拍車^{はくしゃ}がかかります。

寝ている八時間くらいを除くと、一日一六時間も日本語のシャワーを浴び続けています。ですから、C 小学六年生の一二歳になるまでに、合計七万時間以上を費やして母語を習得しています。

ちなみに、日本で英語などの第一外国語を学ぶ時間は、小学六年生までで、二一〇時間。大学卒業までにトータル約一一〇〇時間。母語が、いかに長い時間をかけて無意識のうちにマスターした言語であるかが分かります。だから、自由自在に操^{あやつ}れる！ これを大事にしない手はないではありませんか。

山口仲美^{やまぐちなつみ}著『日本語が消滅する』による

* 1 根源：おおもと。

* 2 ひらたく言えば：わかりやすく言う。

* 3 拍車がかかります：一段と速くなる。

- (1) — 線部「口」という言葉を使った慣用句を一つ考えて書きましょう。
- (2) — 線部A「区別してください」とありますが、筆者が「の」のように言っているのは、日本が今後どうなる「こと」を言っていますか。四十字以内で説明しましょう。（‘、や。や「」なども一字に数えます。）
- (3) — 線部B「在日朝鮮人の金時鐘さん」とありますが、どのような例として挙げられていますか。三十五字以内で説明しましょう。（‘、や。や「」なども一字に数えます。）
- (4) — 線部C「小学六年生の一二歳になるまでに、合計七万時間以上を費やして母語を習得しています」とありますが、「の」のような「母語」について、筆者はどのようなことを言っていますか。四十字以内で説明しましょう。（‘、や。や「」なども一字に数えます。）
- (5) 「母語」と「母国語」の違いを、『母語』は……で、『母国語』は……である。」という形で七十字以内で説明しましょう。（‘、や。や「」なども一字に数えます。）

課題2 いじわるなキツネがツルに、平らな皿にスプーンを入れて差し出したところ、ツルはうまくスプーンを飲めず、また別の日、ツルがキツネに、細長いひんに食べ物を入れて差し出したところ、キツネは細長いひんに入った食べ物を食べる「ことができなかった」という話がありました。この状況について、自分が困るようなことを相手にされたとき、あなたはどのような行動を取るかを、理由とともに二百字以内で書きましょう。（‘、や。や「」なども一字に数えます。段落分けはしなくてよろしい。マス目から書き始めましょう。また少なくとも三文以上で書きましょう。）

課題3 きよしさんたちは、日本の選挙について、調べ学習を行っています。あとの会話文を読んで、(1)～(3)に答えましょう。

きよし：今年は衆議院議員選挙が話題になっていたけれど、投票の状況はどうなっていたのだろう。情報を集めるよい方法はないかな。

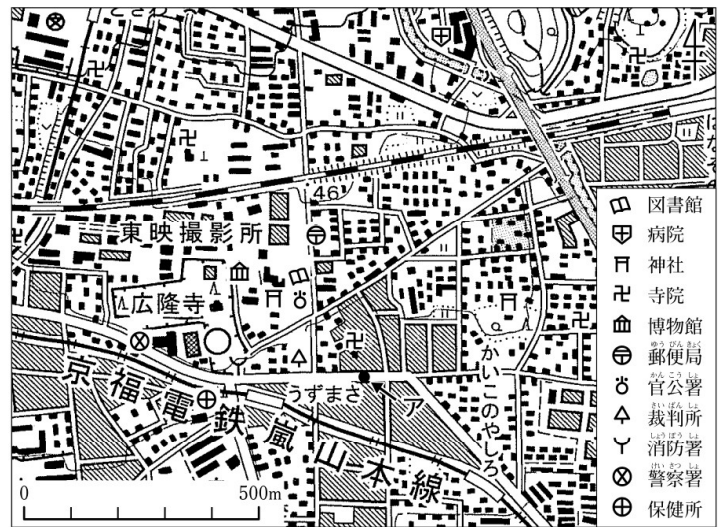
ひでみ：学校の先生に直接、話を聞いてみてはどうか。

まなぶ：学校の先生に話を聞く前に、図書館で情報を集めて質問する内容を考えようよ。ぼくがこの地図を使って図書館までの道を教えるよ。

(1) あなたがまなぶさんなら、どのように道案内しますか。次の条件をふまえて、右の地図中のアから図書館まで歩くコースを文章の書き出しに続けて書きましょう。

〈条件〉○進む方向は、方位を使って示すこと。また、進む方向が変わるときは、目印になる地図記号の建物の名前と進む方位を示すこと。

○進む距離は、地図中の縮尺を使って、百の位までのがい数で示すこと。



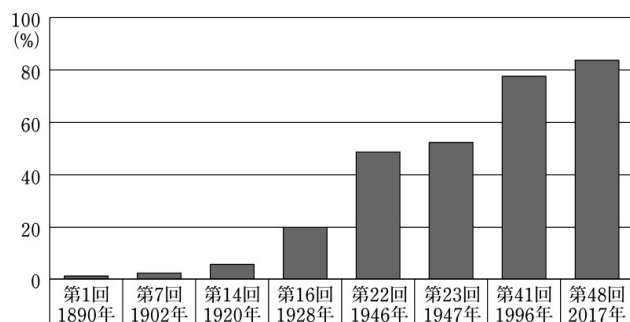
(国土地理院地図をもとに一部改変して作成)

きよし：集めた情報をもとに、学校の先生に質問したから、たくさん話を聞くことができたね。

ひでみ：明治時代に選挙制度が始まり、選挙権を得るための条件は少しずつ変わっていったと先生はおっしゃっていたね。

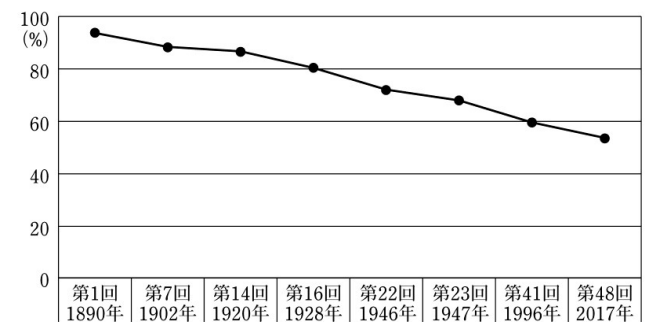
まなぶ：図書館で見つけた資料1と資料2は、先生の言葉とつながっているようだね。

資料1 全人口に占める有権者数の割合のうつりかわり



(総務省資料より作成)

資料2 衆議院議員選挙における投票率のうつりかわり



(総務省資料より作成)

(2) 日本の選挙について、資料1と資料2から読み取ったことをそれぞれ書きましょう。また、資料1と資料2のそれぞれから読み取ったことをふまえて推測できる、日本の選挙の問題点について、あなたの考えを書きましょう。

きよし：2015（平成27）年には、満18歳以上の男女に選挙権が与えられることが定められたね。

ひでみ：政治家や政党は、選挙で選ばれるためにアピールの仕方を工夫しているのかな。

まなぶ：2013（平成25）年4月に法律が改正され、インターネットを利用した選挙運動が可能になったようだね。

きよし：候補者の人たちも、いろいろな年代の人に合わせて政策などを発信しやすくなっているのかな。

(3) 資料3、資料4を見て、投票率と選挙運動の関係から日本の選挙の課題とその解決方法について、具体的にあなたの考えを書きましょう。

資料3 近年の衆議院議員選挙における年代別の投票率 (%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～
2017年	40.5	33.9	44.8	53.5	63.3	72.0	60.9
2021年	43.2	36.5	47.1	55.6	63.0	71.4	61.9

(総務省資料より作成)

資料4 有権者が選挙運動でやってもよいこと・いけないこと

やってもよいこと	やってはいけないこと
- WEB サイトやブログ、SNS の更新（投票日当日は禁止） - 投票に行くことの呼びかけ（投票日当日は内容によっては問題あり） - 街頭演説の動画の投稿（投票日当日は禁止）	- 電子メールでの選挙運動 - 満18歳未満の選挙運動 - 選挙運動期間外の選挙運動 - 候補者に関する虚偽の事項の公開 - 悪質な誹謗中傷※行為

※誹謗中傷…根拠のない悪口を言いふらし、他人を傷つけること。